

令和4年度 道徳教育の方針

【教育目標】 高め合い 未来に向かう 潮見っ子

【3つの柱】〇しっかり行う 〇おおきな心 ◎みんなで学ぶ

令和4年度【重点教育目標】

聞いて 話して みとめ合い

「**みんなで 学ぼう!**」

令和4年度【道徳教育の重点】

◎互いを認め合い信頼関係をはぐくむ心

◎自分の役割を自覚し集団での学びを楽しむ心

「道徳教育の重点」と関連した【重点内容項目】

B(10) 友情、信頼

C(16) よりよい学校生活、集団生活の充実

※低学年：B(9)、C(14) / 中学年：B(9)、C(15)

1 「道徳教育の重点」設定の理由

令和4年度の重点教育目標は、「みんなで 学ぼう!」(聞いて 話して みとめ合い)である。この目標は、学習活動だけに特化したものではなく、子ども同士の人間関係の構築や、力を合わせて行事に取り組む姿など学校生活に関わる全てのことを「学び」と捉えている。

また、「みんなで学ぶ」ためには、①互いを認め合い信頼関係をつくることの大切さ、②自分の役割を自覚して集団で学ぶことの楽しさの2つを実感させることが大切である。そのため、令和4年度の道徳教育の重点を「互いを認め合い信頼関係をはぐくむ心」「自分の役割を自覚し集団での学びを楽しむ心」とし、「みんなで学ぶ」ために必要となる心を道徳教育で養うこととした。

2 重点内容項目とその取扱い

令和4年度の重点内容項目は、「B(10) 友情、信頼」「C(16) よりよい学校生活、集団生活の充実」である。B(10)については、道徳科の授業で友達のことを互いに理解し、信頼し、助け合うことの大切さに気付かせ、そのことを日常に教育活動に生かすことができるよう道徳的实践につなげていく。C(16)については、学級集団だけでなく異学年集団においても、自分の役割を自覚し、様々な活動に積極的に参加することの楽しさを実感させる。

道徳科の授業ではこれまでと同様に、学年部教員だけでなく道徳教育推進教師や管理職も授業を行い、様々な考え方を子どもたちに示すことで、道徳的価値の多面的・多角的な理解を図っていくこととする。